

# 「ナシ福島7号」の果実はニホンナシ黒星病に耐病性を有する

福島県農業総合センター 果樹研究所 栽培科

## 1 部門名

果樹－ナシ－育種・選抜

## 2 担当者名

芝祥太郎、藤田剛輝、安達義輝、高橋堯之

## 3 要旨

ニホンナシ黒星病はニホンナシの生産を左右する最重要病害であり、抵抗性もしくは耐病性品種の育成が求められている。感受性の高い「幸水」と同時期に収穫される県育成系統「ナシ福島7号」で比較調査を行った結果、本系統は「幸水」と比較して強い耐病性を示した。この特徴は、安定生産を確保するうえで有益である。

(1) 2019年7月27日の接種試験では、発病果率が「幸水」では26.7%であったのに対し、「ナシ福島7号」では全く認められなかった（データ省略）。時期別に接種した2020年の試験では、「ナシ福島7号」ではいずれの時期も発病果率が「幸水」より低く、また、小さな黒点状の症状が認められるものの、病斑数は「幸水」より少なかった（表1、図1）。

(2) 自然感染条件下（慣行防除実施）の発病果率は、「幸水」では2019年が8.4%、2020年が8.0%であったのに対し、「ナシ福島7号」ではともに全く認められなかった（データ省略）。

表1 果実に対する黒星病菌分生子の接種時期別発病程度(2020年)

供試品種	接種月日	供試果数	発病果率 <sup>2</sup> (%)	1果当たり 平均病斑数
ナシ福島7号	6月11日	19	15.8	1.0
	6月22日	19	21.1	2.5
	7月2日	17	29.4	1.6
	7月10日	19	26.3	3.2
	7月20日	21	9.5	3.5
幸水	6月11日	18	83.3	4.1
	6月22日	17	100	8.9
	7月2日	16	100	18.0
	7月10日	20	100	36.9
	7月20日	17	82.4	4.3

<sup>2</sup>病斑が認められた果実を発病果とした。

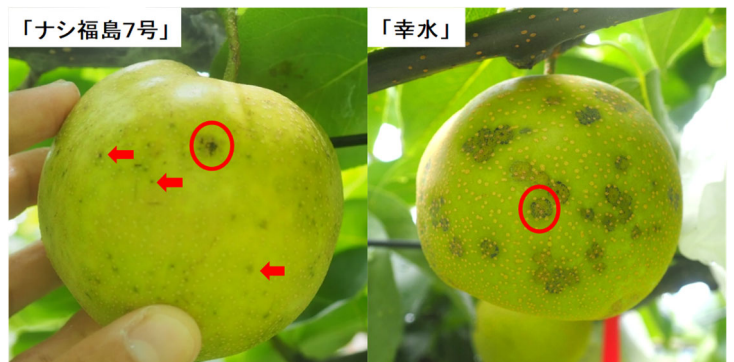


図1 接種試験による果実の発病状況(2020年7月10日接種、8月12日撮影)  
病斑:丸囲み、小黑点:矢印と示す。  
「ナシ福島7号」:病斑×1個、小黑点×30個以上 「幸水」:病斑×45個

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成27～令和2年度
- (2) 研究課題名 県オリジナル果樹品種の育成

## 5 主な参考文献・資料

- (1) 梅本清作, ニホンナシ黒星病の発生生態と防除に関する研究, 千葉県農業試験場特別報告, 22, p.44, 1993.
- (2) 小仁所ら, ニホンナシ新品種「サザンスイート」, 長野県南信農業試験場報告, 5, pp.111～113, 2015.